

資本的収支

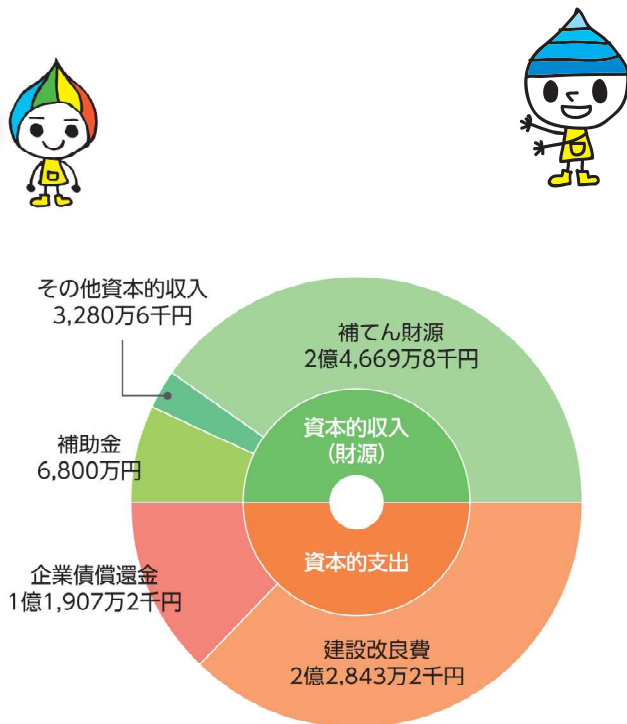
資本的収入は、沖縄簡易水道等施設整備費国庫補助事業に係る補助金6,800万円、その他の資本的収入3,280万6千円で総額1億80万6千円を見込んでおります。

資本的支出としては、建設改良費2億2,843万2千円、企業債償還金1億1,907万2千円で総額3億4,750万4千円となっております。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額2億4,669万8千円は当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,465万4千円と減債積立金3,351万9千円及び過年度分損益勘定留保資金1億9,852万5千円で補てんすることとしております。

資本的収支

内 訳	予算額(税込)
収 入	1億80万6千円
補助金	6,800万円
その他資本的収入	3,280万6千円
支 出	3億4,750万4千円
建設改良費	2億2,843万2千円
企業債償還金	1億1,907万2千円
収支差引	△2億4,669万8千円
補てん財源	2億4,669万8千円
当年度分消費税及び 地方消費税資本的収支調整額	1,465万4千円
減債積立金	3,351万9千円
過年度分損益勘定留保資金	1億9,852万5千円



平成28年度の主な事業

平成28年度は、従来の第5次拡張事業計画に基幹管路の耐震化事業を加え事業を行ってまいります。

主な工事施工箇所は、南風原町新川交差点から精和病院(県道240号線)及び八重瀬町富盛(町道大名線)の基幹管路耐震化更新工事を予定しており、沖縄簡易水道等施設整備費国庫補助事業は1億3,600万円(財源内訳として国庫補助金6,800万円、自己資金6,800万円)となっております。

送配水施設整備事業は、国道及び県道の改良工事等に伴う配水管移設工事、消火栓設置工事等、また平成27年度からの継続費事業で摩文仁浄水場更新事業、水源流域内水質調査を行ってまいります。

当企業団では、施設及び基幹管路の耐震化に併せた、災害時の飲料水を確保する取り組みとして、平成28年度は八重瀬第1、第3配水池へ緊急遮断弁設置を予定しております。 ※(緊急遮断弁とは、大規模な地震が起きた際、漏水を防ぐため自動で配水を停止させる装置です。)

送配水施設整備事業は6,010万円、消火栓設置工事等は1,243万2千円、摩文仁浄水場更新事業は564万1千円を計上しております。

水道事業は、利用者の皆さまからお支払い頂いた水道料金で運営されております。

この水道料金は、安全で良質な水道水を安定的に供給するために必要な水道施設の整備や維持管理などの費用に使われております。

当企業団では、今後も一層の健全経営に努めてまいります。

業務予定量

平成28年度の業務予定量は、給水戸数が1万8,952戸で、前年度当初予算に比べ436戸の増加、給水人口についても6万8,123人で、前年度に比べ902人の増加を見込んでおります。

また、年間総配水量は7,368,955㎥で、前

年度に比べ30,529㎥の増加、年間有収水量についても7,010,086㎥で、前年度に比べ29,040㎥の増加を見込んでおります。

当企業団構成町の人口は増加傾向で推移しておりますが、節水意識の定着などにより収益の大幅な増加は見込めない状況にあります。

収益的収支(損益計算書ベース)

収益的収支については、水道事業収益は、15億3,184万5千円(対前年度比3.9%増加)で、水道事業費用は、14億3,932万8千円(対

前年度比3.1%増加)となっております。

水道事業収益から水道事業費用を差し引いた当年度純利益見込額は、9,251万7千円となります。

内 訳	予算額(税抜)
収 入	15億3,184万5千円
給水収益	14億148万3千円
その他営業収益	1,495万円
営業収益以外の収益	1億1,541万2千円
支 出	14億3,932万8千円
人件費	1億8,654万円
動力費	3,425万9千円
薬品費	46万3千円
修繕費	5,921万2千円
委託料	9,010万7千円
その他維持管理費等	6,980万9千円
受水費	6億7,212万1千円
減価償却費	2億7,232万円
資産減耗費	1,550万6千円
支払利息	3,855万3千円
その他雑支出	43万8千円
当年度純利益見込額	9,251万7千円

その他営業収益：下水道料金徴収事務受託料、消火栓の維持管理負担金などがあります。

営業収益以外の収益：長期前受金戻入が主になっています。他に配水管移設補償金、預金利息、料金の督促料などが含まれます。

動力費：浄水場、ポンプ場などの運転にかかる費用です。

薬品費：原水から安全な水道水をつくるために必要な薬品を購入します。

修繕費：施設や管路の補修にかかる費用です。

委託料：人件費削減・抑制が期待できる分野で、専門技術を持った民間企業などへの業務委託に係る費用です。

その他維持管理費等：燃料費、光熱費、備消耗品費などが含まれます。

減価償却費：施設や備品などの資産価値が減少していく金額を費用化したものです。現金の支出を伴わない費用です。

資産減耗費：不要になったり、使用不可能などにより処分した資産の残った資産価値を減額します。現金などの支出がない費用です。

収益的収支



予算公表

平成28年度
南部水道企業団の予算概要